

第1回 伝統文化交流事業inゆとろぎ

新春!

あなたも歌舞伎を体験してみませんか

“普通の人々が普通に観られる歌舞伎”

第一部 歌舞伎ワークショップ

「助六のできるまで」

普段見られない化粧・衣装の着付けをご覧いただけます

第二部 歌舞伎舞踊「助六」

遊郭を舞台に助六が勇ましく華やかに舞い踊ります

第三部 歌舞伎「あんまと泥棒」

本公演のメインプログラム。最後の最後に大どんでん返しをご用意されている超一流エンターテイメント作品

出演者(予定) 菊月喜千寿

千川貴楽

花柳寿美蔵



2013年
1月19日(土)

開場16:30 / 開演17:00

羽村市生涯学習センター
ゆとろぎ 大ホール

TEL: 042-570-0707
E-Mail: kyodo@hamura-tokyo.jp

チケット

全席自由

大人 2,500円 (当日3,000円)

小人 1,000円 (前売, 当日共)

※未就学児入場不可

保育あり (要予約1月11日(金)まで)

◆チケット販売所

- ・ゆとろぎチケットカウンター(月曜休館)
- ・羽村市スポーツセンター(月曜休館)
- ・西多摩新聞社チケットサービス(土日休)
- ・マルフジ (青梅, 羽村, 福生市内) 7店舗

*羽村市生涯学習センターゆとろぎは月曜日休館となります。

主催: 羽村市教育委員会 企画運営: ゆとろぎ協働事業運営市民の会 協力: NPO法人日本伝統芸能振興会

— 歌舞伎と親しむ —

歌舞伎というと「なんだか難しそう」とか「敷居が高い」とか、なにかと“格式高い”イメージをお持ちではないですか？ 実は、歌舞伎はとてわかりやすく親しみやすい“庶民的な”芸能なのです。

江戸時代に誕生した歌舞伎は、市民の間で熱狂的な人気を集め、あっという間に日本で一番有名な芸能になりました。それは、歌舞伎がわかりやすく誰もが楽しめる芸能だったからです。歌舞伎は演劇として初めて“世界文化遺産”に選ばれたほど、世界に類を見ない素晴らしい芸能です。それなのに、歌舞伎を観た事がある日本人は、人口のわずか5%程度しかいないと言われていています。

歌舞伎に対するイメージの誤解を解き、歌舞伎のおもしろさ・親しみやすさ、そして何よりも歌舞伎の素晴らしさをぜひこの機会にご体験ください。

— 上演構成 —

本公演は3部構成となっています。1・2部で歌舞伎と親しんでもらうためのワークショップとその実演。そして、3部でメインプログラムの「あんまと泥棒」を上演いたします。

第1部歌舞伎ワークショップ「助六のできるまで」(30分)

歌舞伎俳優がいかにして作られていくのか、普段見られない化粧・衣裳の着付を舞台の上でご覧いただけます。

第2部歌舞伎舞踊「助六」(20分)

ご存知、歌舞伎十八番「助六」のエッセンスを凝縮した歌舞伎舞踊です。遊郭を舞台に、助六が勇ましく華やかに舞い踊ります。

第3部歌舞伎「あんまと泥棒」(50分)

本公演のメインプログラムです。

— 「あんまと泥棒」とは？ —

「あんまと泥棒」は超一流のエンターテインメント作品！

本作のあんまは先代中村勘三郎(現勘三郎の父)の当たり役で、泥棒役の中村富十郎や長谷川一夫のコンビで上演された名作です。歌舞伎には“時代物”と“世話物”と呼ばれるジャンルがあり、「あんまと泥棒」は“世話物”に分類されます。“世話物”は江戸時代の庶民の生活を題材にした物語が中心となります。義理や人情など、庶民に身近なものをテーマにしたものが多く、またセリフ回しも「話し言葉」であるためとてもわかりやすく、予備知識がなくても誰もが楽しめる内容となっています。

本作品も、あんまとその家に押入った泥棒の滑稽な会話が物語の本筋となります。しかしただの喜劇ではありません。最後の最後にとんでもない大どんでん返しを用意されている超一流のエンターテインメント作品です。

この作品を観れば、歌舞伎に対する見方が180度変わる間違いありません！

あらすじ

あんまの秀の市は、一見人当たりのよさそうな人物。しかし、彼には実は裏の顔が！？

ある日、秀の市が家に帰ると床の下から現れたのは、泥棒の権太郎。権太郎は「金を出せ！」とすごみますが、秀の市はのりくらしと言ひ抜けます。その上、自分の哀れな身の上を泣きながら語り、権太郎の同情を引く始末。結局、権太郎は秀の市からお金を奪うどころか、逆にお金をめぐんでやる羽目に！権太郎は泣く泣く帰っていくのでした…泥棒が去った後、秀の市はなにやらごそごそと始めます。そこには、あっと驚く衝撃のラストシーンが！！